

2025年1月16日

2025年国民春闘 「はたらくみんなの要求アンケート」 第2次報告



今後の公表予定

最終報告 → 2025年6月18日(水)

国民春闘共闘委員会・全労連

1. アンケートの目的と位置づけ

- ① 2025年春闘をすべての労働者の賃上げ、ベアを本格的に獲得する春闘にするために、秋の段階から全組合員規模の春闘論議を職場から強めるための“核”として位置づける。
- ② 集約した結果から、労働者の生活実感や賃金要求、政策・制度への関心を把握し、統一要求をつくるための基礎資料とする。また、春闘要求の正当性を明らかにし、社会的にアピールするとともに、政府・財界に実現をせまる。
- ③ すべての労働者を視野に、広範な労働者の生活実態にもとづいた大衆的な要求づくりを組織し、大幅賃上げ、生活改善など切実な要求を実現するためにたたかう意欲とエネルギーの結集をはかり、職場からの労働組合活動を強化する。また、組織強化・拡大のツールとして、組織内はもとより職場や地域の未組織労働者を含めた広範囲な労働者との「対話」のきっかけづくりに使う。

2. 集約状況

1月7日時点で国民春闘共闘委員会に報告頂いたアンケート集約は別表単産の18単産から117,273人分となっています。(2024年度同期/2024年1月9日:17単産124,160人)

3. 集約結果 (n=各項の回答母数)

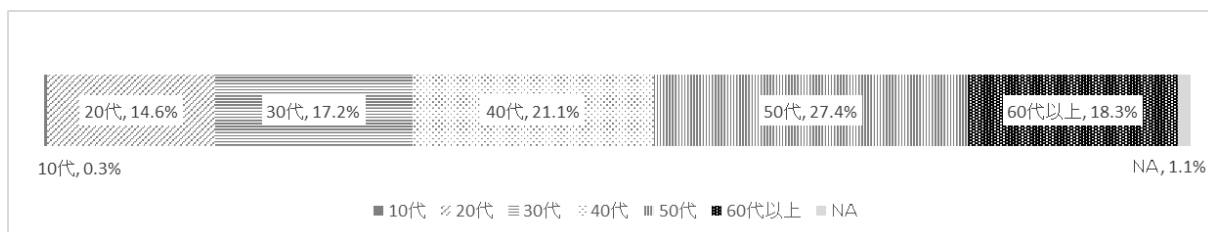
【設問1 性別】(n=114,807)

回答者のうち、「男性」が39.8%、「女性」が58.6%、「どちらでもない・回答したくない」0.4%、「無回答」1.1%となっています。



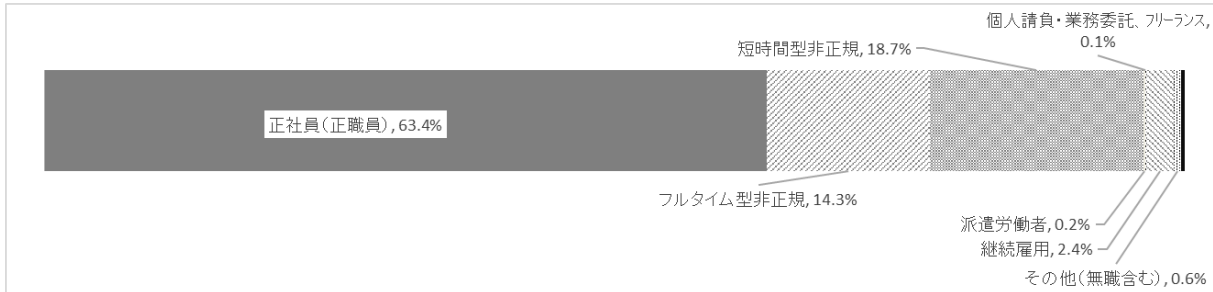
【設問2 年齢】(n=116,965)

「50代」27.4%、「40代」21.1%、「60代以上」18.3%、「30代」17.2%、「20代」14.6%、「10代」0.3%となっています。



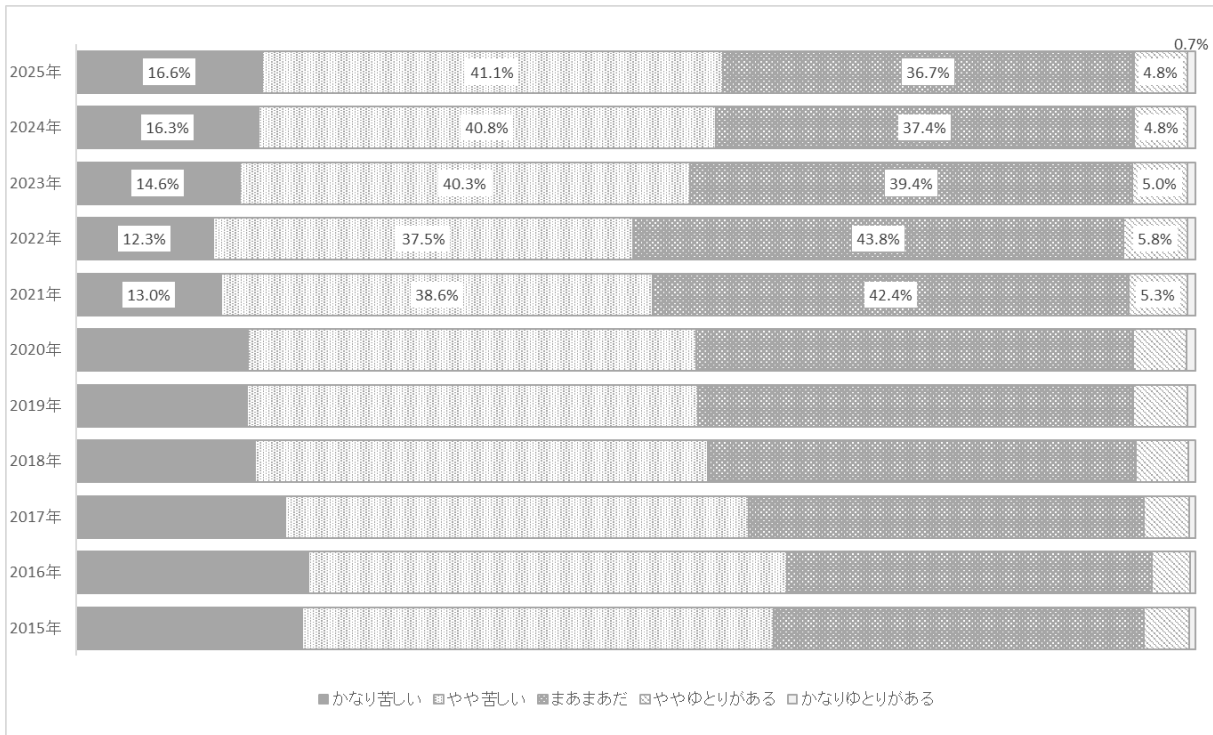
【設問3 雇用形態】(n=111,074)

正社員(正職員)が63.4%となっています。パートやアルバイト、継続雇用など直接雇用で働く非正規雇用労働者が35.4%、派遣や個人請負・業務請負、フリーランスなどの間接雇用労働者は0.3%となっています。



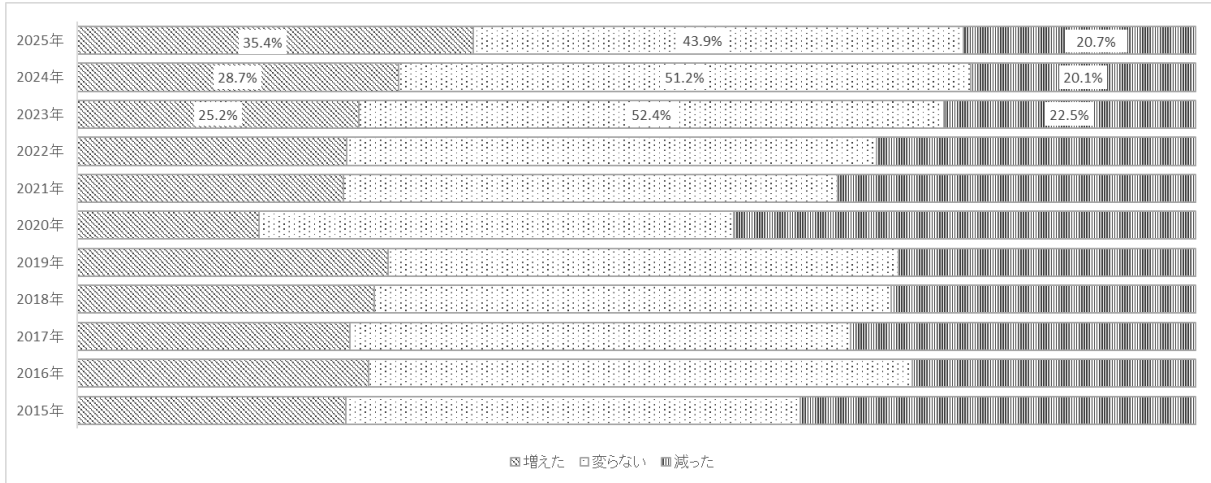
【設問4 生活実感】(n=116,625)

労働者の生活実感は、「かなり苦しい」が16.6%、「やや苦しい」は41.1%で、合わせた<苦しい>層が57.7%と、昨年の53.7%から4ポイント増えています。<まあまあ>と感じている層の割合は36.7%で、「ややゆとりがある」4.8%、「かなりゆとりがある」は0.7%にとどまっています。



【設問5 前年と比べた年収】(n=94,807)

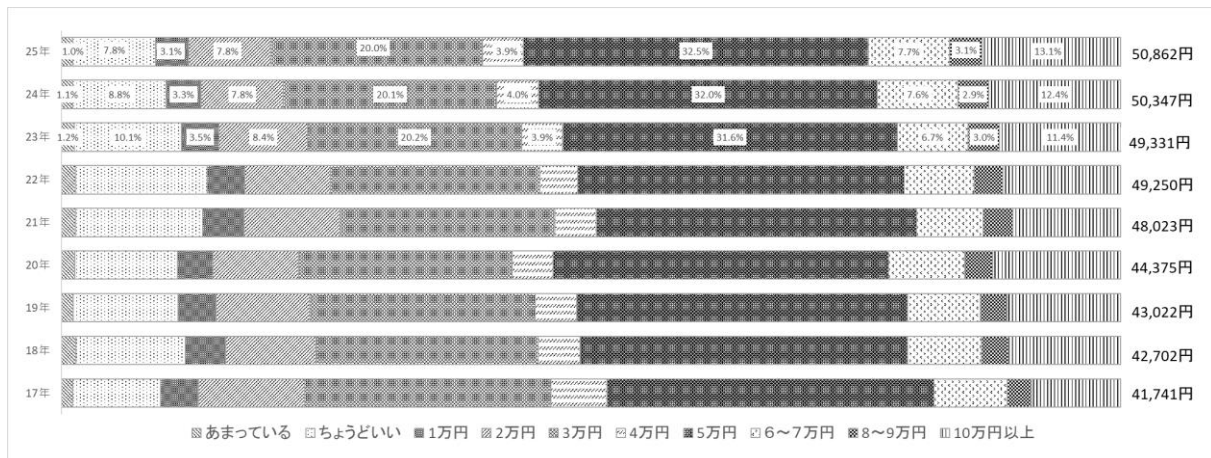
前年の年収との比較では、「増えた」と答えた人は35.4%で、「変わらない」と答えた人は43.9%でした。春闘での賃上げや地域別最低賃金の引上げなどで年収が増えている割合が2020年以降増えていますが、生活実感は悪化している状況となっています。また、20.7%の人が「減った」と回答しています。



【設問6 あなたの家庭では月額いくらくらい必要ですか】(n=75,463)

家計であといくら不足しているかを上げてもらいました。もっとも多かったのは月「5万円」で32.5%、ついで「3万円」20.0%、「10万円以上」13.1%となっています。

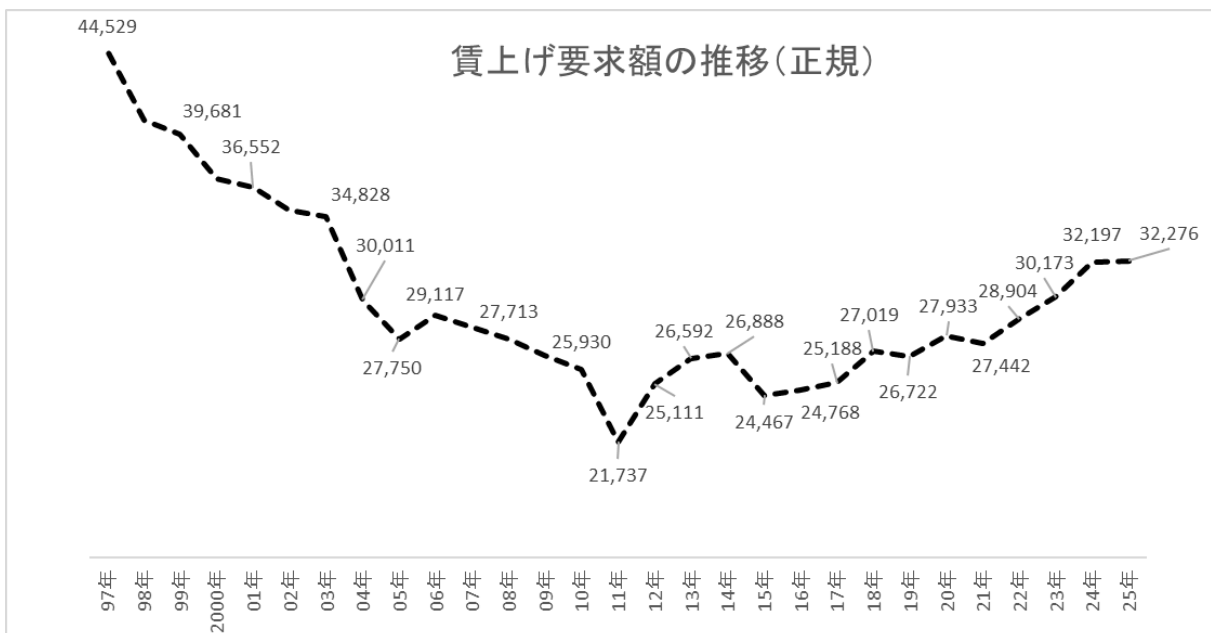
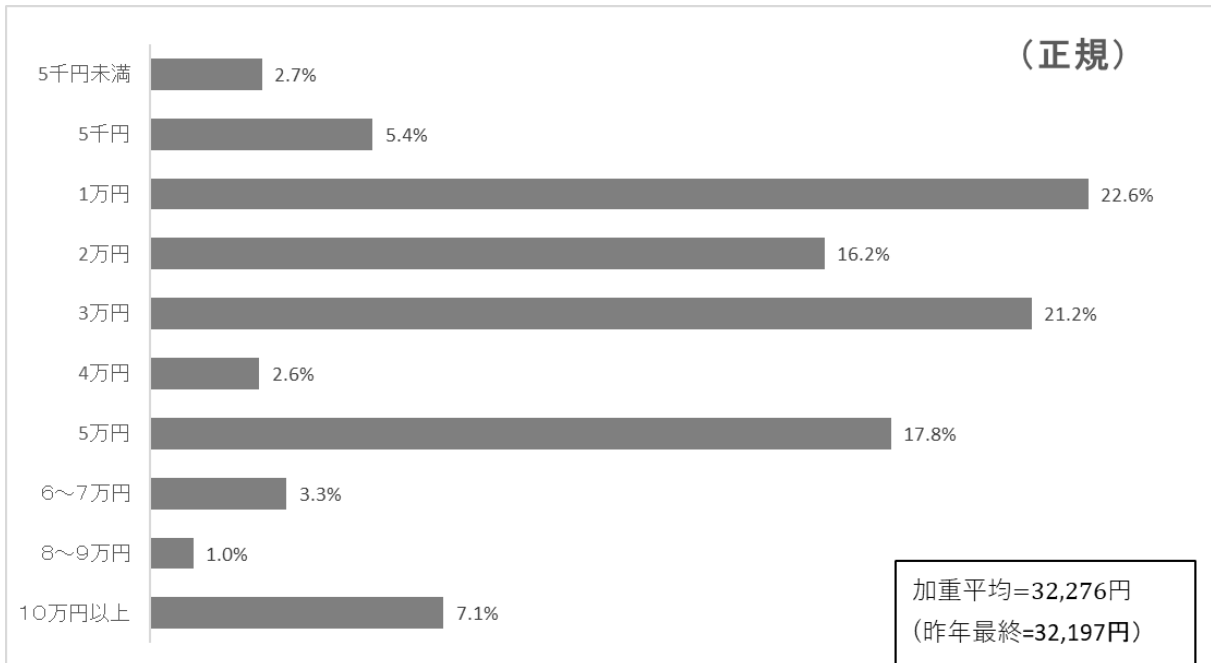
不足額の加重平均は50,862円で前年最終集計の額と同水準となっています。



【設問7 月額賃上げ要求額】(正規、非正規)

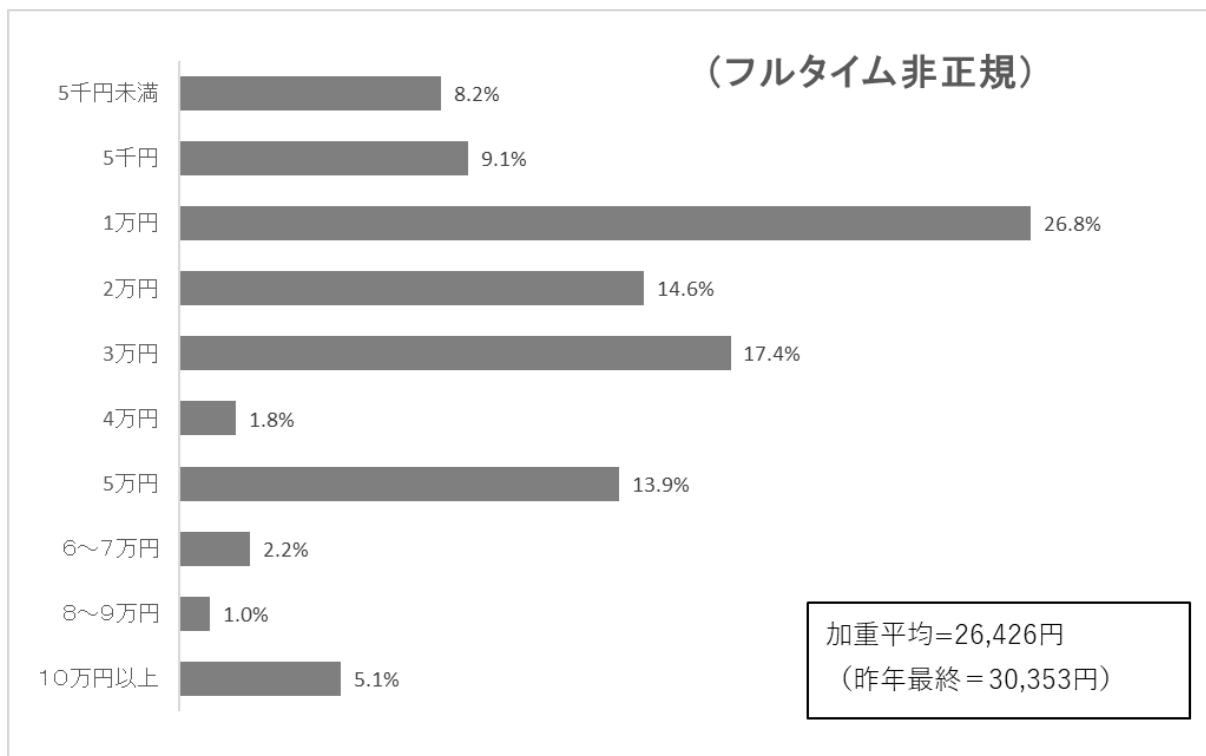
<正規労働者> (n=68,743)

月額での賃上げ要求で最も多かったのは「1万円」の22.6%で、つづいて「3万円」21.2%、「5万円」17.8%、「2万円」16.2%となっています。賃上げ要求の加重平均額は32,276円となっています。前年最終集計額 32,197円と同水準となっています。2015年以降上昇しており、2003年(34,828円)ぶりの水準となっています。



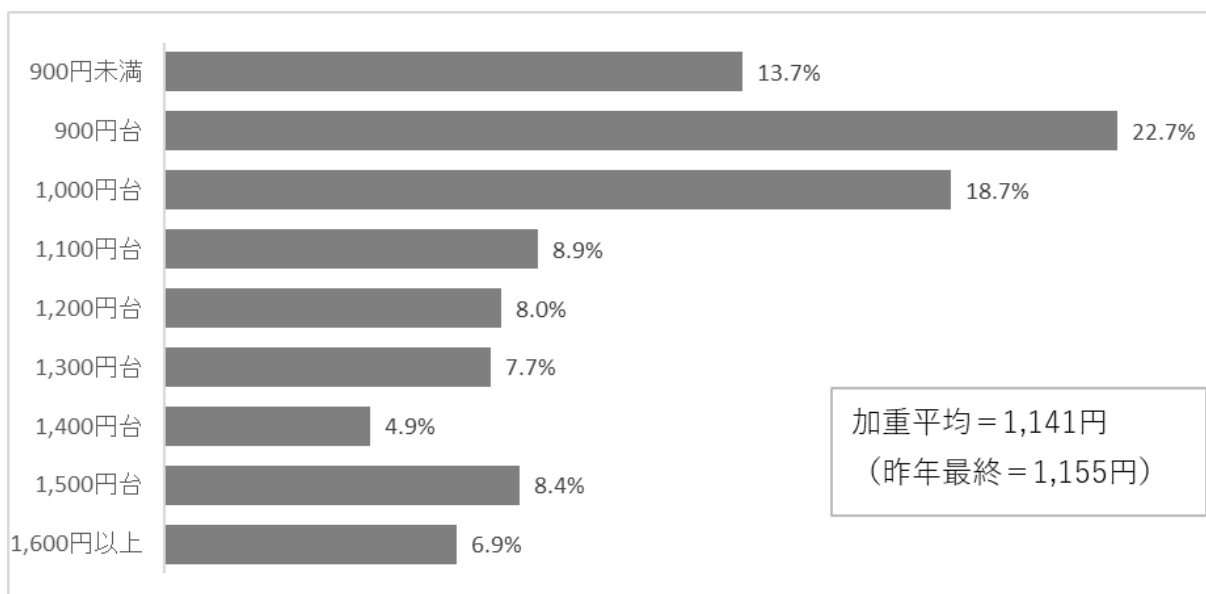
<フルタイム非正規労働者> (n=8,929)

フルタイム型の非正規労働者の月額での賃上げ要求では、最も多かったのは「1万円」26.8%、ついで「3万円」17.4%、「2万円」14.6%、「5万円」13.9%となっています。賃上げ要求の加重平均額は26,426円となっています。



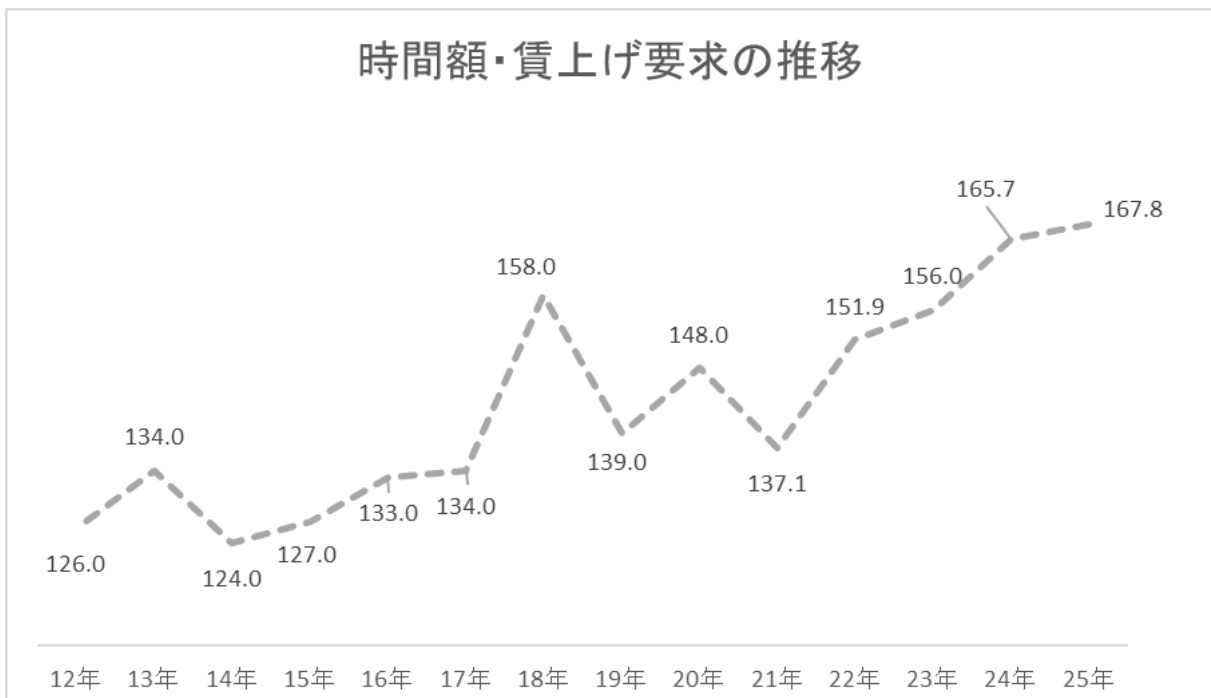
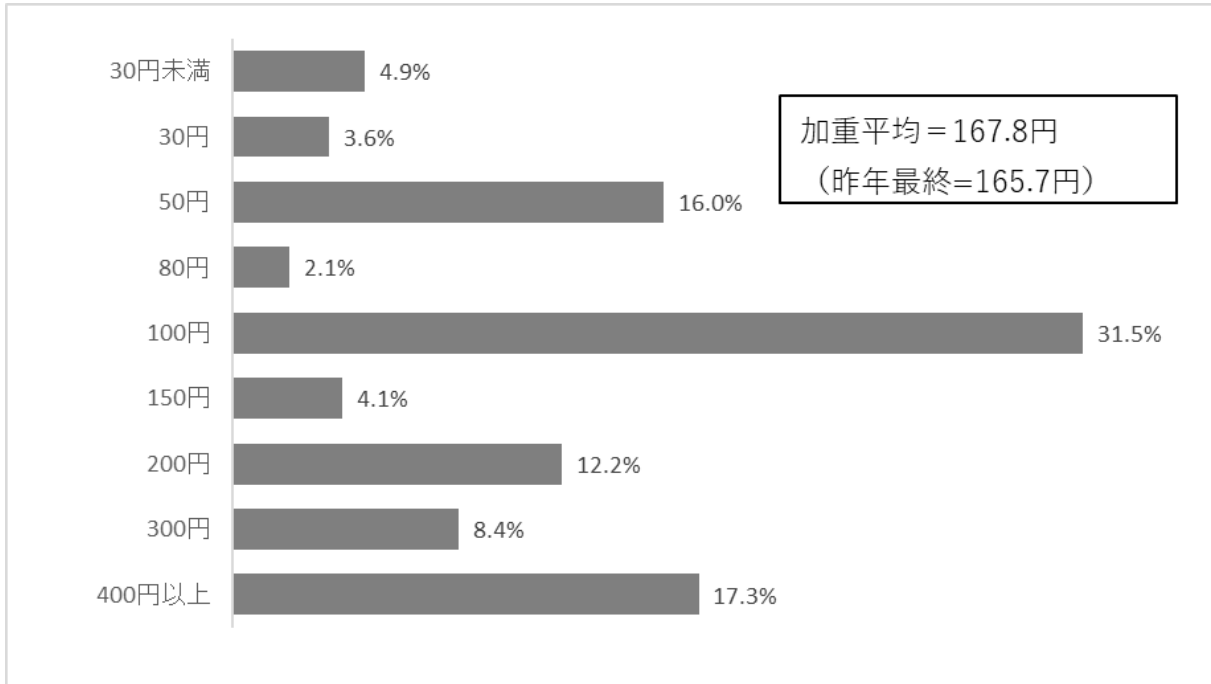
【設問8 現在の賃金（時間額）】 (n=21,406)

現在の賃金（時間額）は、「900円台」が最も多く22.7%となっています。つづいて「1,000円台」が18.7%、「900円未満」が13.7%となっています。加重平均は1,141円となっており、多くの非正規雇用労働者が最低賃金近傍で働いている状況となっています。



【設問9 時間額での賃上げ要求額】(n=31,494)

時間額の賃上げ要求で最も多かったのは「100円」の31.5%で、「400円以上」の17.3%、「50円」16.0%、「200円」12.2%と続いています。時間額での賃上げ要求の加重平均は167.8円で、前年最終集計165.7円を2.1円上回っています。

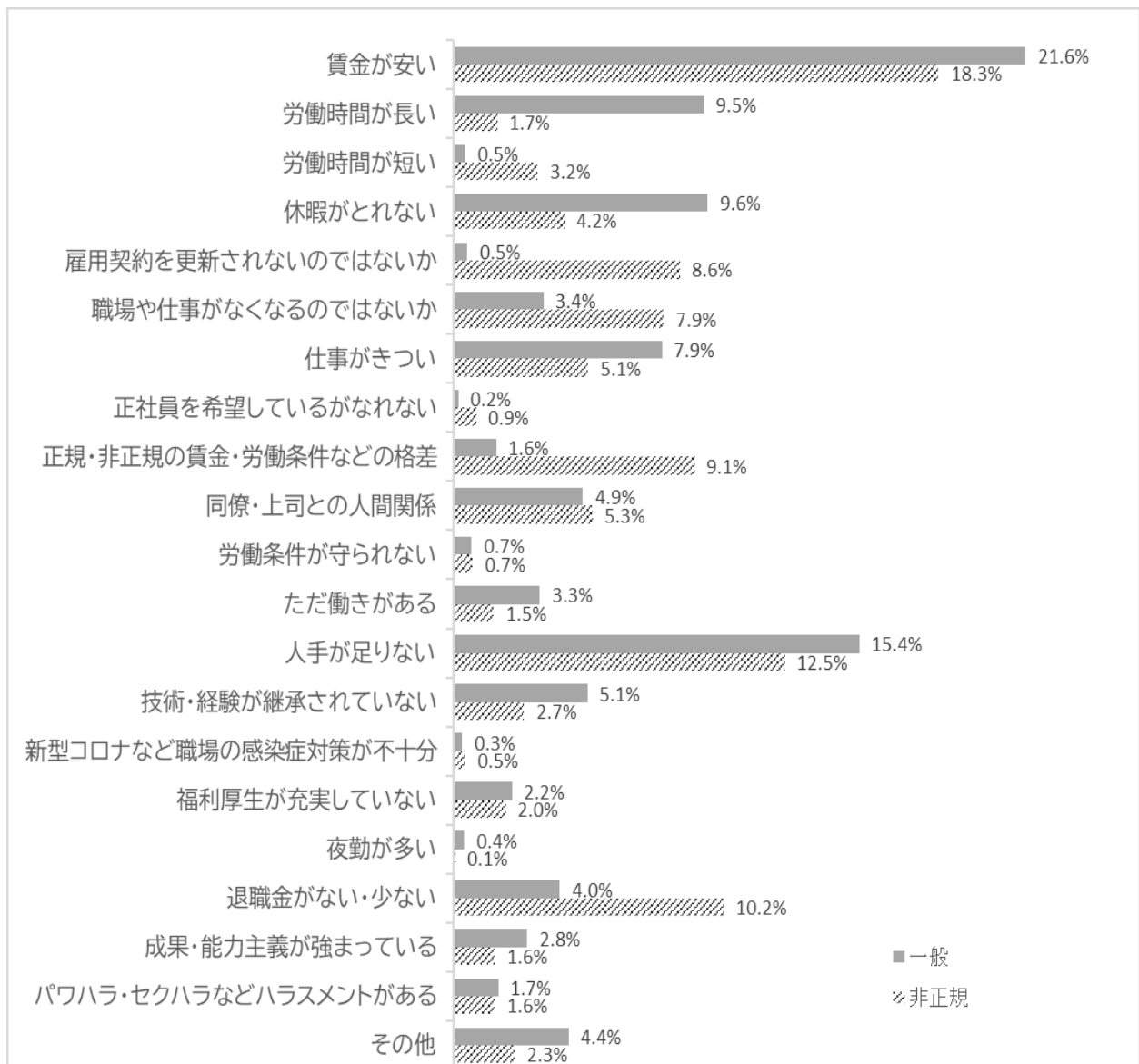


【設問 10 仕事や職場での不満・不安】

仕事や職場について、とくに不満や不安に思うことを3つ以内で選んでもらっています。

一般アンケートでみると第1位が「賃金が安い」21.6%で、つづいて「人手が足りない」15.4%、以下「休暇がとれない」9.6%、「労働時間が長い」9.5%、「仕事がつい」7.9%と続いています。

非正規アンケートをみると、「賃金が安い」が18.3%と最も多く、つづいて「人手が足りない」12.5%、「退職金がない・少ない」が10.2%、「正規・非正規の賃金・労働条件などの格差」9.1%、「雇用契約を更新されないのではないか」が8.6%、「職場や仕事なくなるのではないか」7.9%などとなっています。

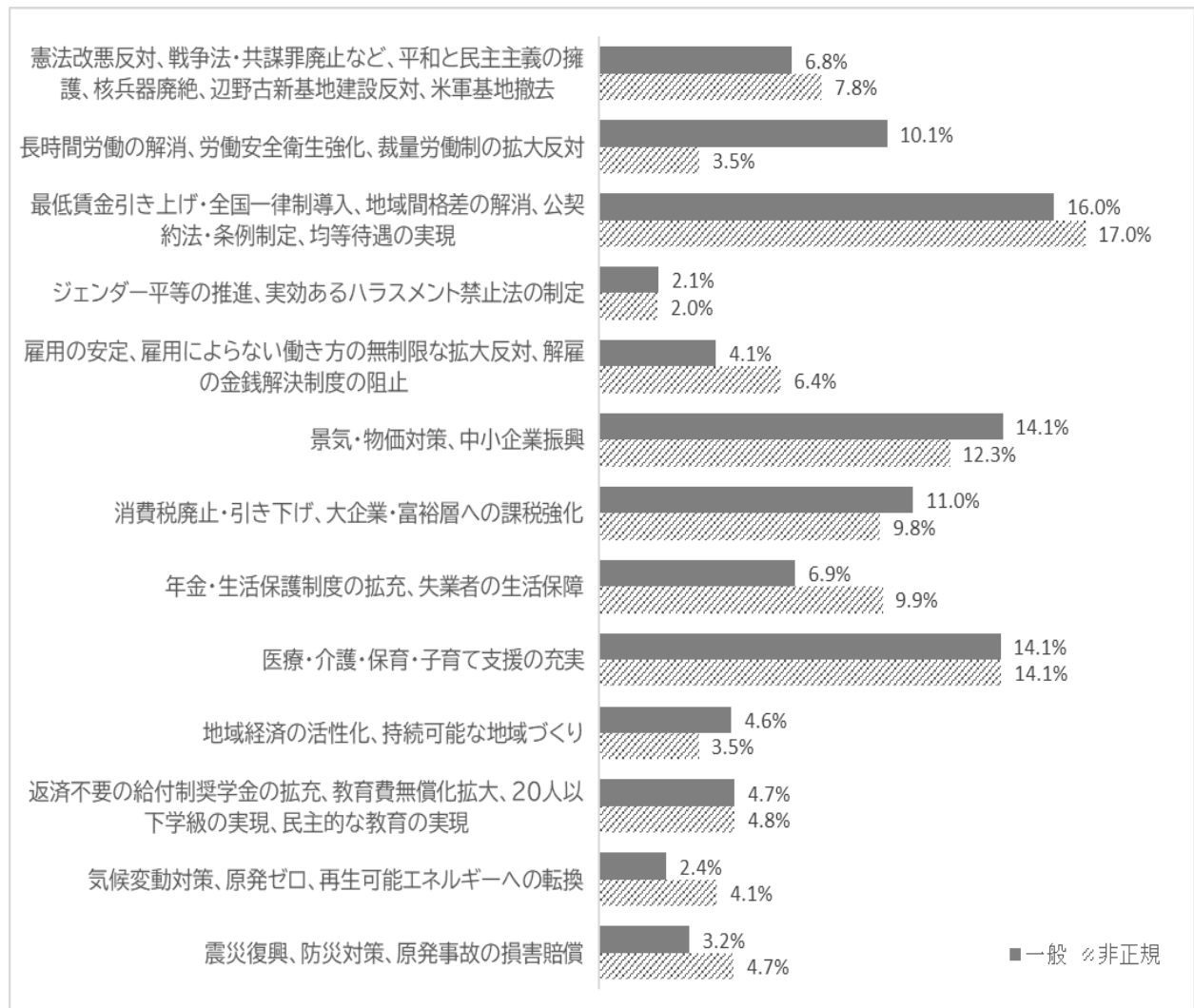


【設問 11 政府に対する要求】

政府に対しての要求課題を 13 項目あげ、特に重視して考える 3 課題を選んでもらいました。

一般アンケートで最も多かったのは「最賃金引き上げ・全国一律制の導入、地域間格差の解消、公契約法・条例制定、均等待遇の実現」16.0%で、「景気・物価対策、中小企業振興」と「医療・介護・保育・子育て支援の充実」が14.1%で続き、「消費税廃止・引き下げ、大企業・富裕層への課税強化」11.0%、「長時間労働の解消、労働安全衛生強化、裁量労働制の拡大反対」10.1%などとなっています。

非正規アンケートでは、「最賃金引き上げ・全国一律制の導入、地域間格差の解消、公契約法・条例制定、均等待遇の実現」17.0%が最も多く、「医療・介護・保育・子育て支援の充実」14.1%、「景気・物価対策、中小企業振興」12.3%、「年金・生活保護制度の拡充、失業者の生活保障」9.9%、「消費税廃止・引き下げ、大企業・富裕層への課税強化」9.8%など続いています。



2025年春闘「はたらくみんなの要求アンケート」集約表

2025/1/7 現在

組織名	要求アンケート（一般）			非正規			合計	前年同期 (24/1/9)	前年実績	前年実績比
	組織内	組織外	小計	組織内	組織外	小計				
建交労	3,983	1,573	5,556	672	665	1,337	6,893	6,580	13,277	51.9%
JMITU	393		393			0	393	496	2,517	15.6%
自交総連	2,531		2,531			0	2,531	0	2,825	89.6%
検数労連	895		895			0	895	906	906	98.8%
生協労連	10,320		10,320	18,417		18,417	28,737	32,566	32,566	88.2%
全労連全国一般	951	47	998	579	40	619	1,617	1,323	6,235	25.9%
金融労連			0			0	0	0	0	-
全印総連	756		756	116		116	872	1,116	1,116	78.1%
民放労連	473		473			0	473	502	502	94.2%
映演労連			0			0	0	0	380	0.0%
日本医労連	15,740	1,311	17,051	1,909	1,219	3,128	20,179	26,365	51,469	39.2%
福祉保育労	1,695	68	1,763	252	185	437	2,200	2,276	2,858	77.0%
年金者組合			0			0	0	0	0	-
国公労連	7,356		7,356	2,272		2,272	9,628	10,850	10,850	88.7%
自治労連	15,298	4,276	19,574	2,949	6,620	9,569	29,143	28,244	70,564	41.3%
全 教	3,239		3,239	375		375	3,614	2,734	6,071	59.5%
郵政ユニオン	1,099		1,099	1,059		1,059	2,158	2,464	2,464	87.6%
全農協労連	2,414		2,414	63		63	2,477	1,646	3,732	66.4%
建設関連労連			0			0	0	0	709	0.0%
化学一般労連	2,519		2,519			0	2,519	2,778	2,778	90.7%
合同繊維			0			0	0	0	0	-
全倉運	2,636		2,636			0	2,636	2,897	2,897	91.0%
全損保			0			0	0	0	1,726	0.0%
全証労協			0			0	0	0	0	-
出版労連	308		308			0	308	417	417	73.9%
協力組織			0			0	0	0	0	-
単産小計	72,606	7,275	79,881	28,663	8,729	37,392	117,273	124,160	216,859	54.1%
地方小計	0	0	0			0	0	0	3,456	0.0%
総合計	72,606	7,275	79,881	28,663	8,729	37,392	117,273	124,160	220,315	53.2%

<参考> 集計方法について

設問1. 「どちらでもない」を「どちらでもない・回答したくない」に変更

設問2. 加盟組織によって「5歳刻み」や「20代以下」、「70代以上」など独自の設定をしている場合は、以下のように読み替えて集計しています。

- ・「20代以下」＝「20代」
- ・「70代以上」「80代以上」＝「60代以上」
- ・「50歳～61歳」＝「50代」
- ・「61歳以上」＝「60代以上」
- ・「5歳刻み」＝当てはまる年代に振り分ける

設問3. 各組織によって多種多様な雇用形態での項目設定になる場合は以下のように振り分け集計をします。

【1】正社員・正職員＝いわゆる正規雇用労働者を想定しています。組織内の正規雇用だけでなく、外郭団体や別会社などで正規雇用として働いている場合も含みます。

【2】フルタイム有期・無期契約＝直雇用の非正規雇用労働者のうち、フルタイム雇用を想定しています。＜パート（厚生年金適用）、直雇用アルバイト、契約社員、準社員、臨時、嘱託、非常勤（厚生年金適用）、無期転換労働者など＞

*嘱託は「再雇用嘱託」なども想定されますが、職場によるばらつきがあるほか、【4】で継続雇用（再雇用・再任用）を設定しているため【2】での集計とします。

【3】パート・アルバイト・臨時（短時間）＝直雇用の非正規雇用労働者のうち、短時間雇用を想定しています。＜パート（厚生年金非適用）、非常勤（厚生年金非適用）、登録型ヘルパーなど＞

【4】派遣労働者＝間接雇用の労働者を想定しています。＜常用型派遣、登録型派遣など＞

【5】個人請負・業務委託、フリーランスなど＝非雇用型の労働者を想定しています。

【6】継続雇用（再雇用・再任用）＝定年退職後の継続雇用者を想定しています。

【7】その他（無職含む）

設問6 加重平均の計算は、【3】～【7】まではそれぞれの数で、【8】の「6～7万円」は65,000円、【9】の「8～9万円」は85,000円、「10万円以上」は10万円で、それを総計から「あまっている」、「ちょうどいい」、回答なしを引いた数で割って計算しています。

設問7 加重平均の計算は、「5千円未満」を2,500円、【2】～【7】まではそれぞれその数で、

【8】の「6～7万円」は65,000円、【9】の「8～9万円」は85,000円、「10万円以上」は10万円で、それを総計から「回答なし」を引いた数で割って計算しています。

設問8 加重平均の計算は「900円未満」を800円、【2】～【8】まではそれぞれの階層の通関の値（例：900円台=950円）、「1600円以上」は1600円で計算し、それを総計から「回答なし」を引いた人数で割って計算しています。

設問9 加重平均の計算は「30円未満」を15円、【2】～【8】まではそれぞれの金額、「400円以上」は400円でそれを総計から「回答なし」を引いた人数で割って計算しています。

設問10、11 各項目の回答者数の総計を母数にとり、割合を算出しています。